

職員における新型コロナウイルス陽性者の報告について(第2報)

令和3年8月15日(日)、介護老人福祉施設東光園の入所部門の職員1名について、新型コロナウイルスのPCR検査にて陽性であったとの連絡があり(当該職員は無症状)、保健所と連携を図りながら、対応を進めております。

保健所のご指導により、8月16日に職員1名(感染が成立した可能性が高い時期に当該職員の近くで勤務しており濃厚接触者として対応。出勤停止中)、8月18日に職員4名と入所者14名のPCR検査検体を採取し、全員が陰性であるとの報告を本日までにて得ました。保健所にご報告申し上げ、これらの方については、8月27日まで健康観察を行うようにご指導をいただいております。

また、8月15日にPCR検査陽性と判明した職員は無症状であり、明確な発症日がありません。発症日が分かれば、それより数日前(デルタ株ではさらに2日ほど早くなる可能性あり)からウイルスを排出して他の方の感染させることが知られているため、この期間に接触した方の検査を進めますが、無症状の場合はいつからウイルス排出があったのかが不明確です。同居のご家族の状況から、一定の時期を感染時期と推定して検査・対応方針が決定されましたが、万全を期すため、保健所から接触者としてリストアップされた前記の方々以外の職員や入所者についても、当法人の判断で追加のPCR検査を行っています(1年前の新型コロナ流行当初の和歌山県での実例より、初動時から検査対象を広げるほうが安全と言われております)。職員については、PCR検査陽性が判明した職員と同一のフロアで勤務する介護職員、看護職員等の検査を8月16日に行い全員の陰性を確認しましたが、18日に保健所の検査を受けなかった方については、8月20日に再検査の予定です。同フロアの入所者におかれましては、8月18日に、接触者扱い以外の方も含めて全員の検査をさせていただき、全員が陰性との結果を得ました(念のための再検査の是非を検討中です)。医師や歯科医師等の、滞在期間や訪問頻度の低い関係者についても、8月14日までの1週間に同フロアに立ち入った方については、8月19～20日に検査を実施予定です。

日頃より、ご利用者、ご家族の皆様にも多大なるご協力をいただき、職員一同、感染防止対策に最大限の注意を行ってまいりましたが、この度は、ご利用者の皆様及びご家族の皆様、また、関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

引続き、関係の方々への検査と健康観察をすすめ、可能な限りの対応をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和3年8月19日
社会福祉法人 東光会
特別養護老人ホーム東光園
施設長 岡本 壮介